

国家予算 社会保障費増え借金も増

2022年、新年あけましておめでとうございます。このコーナーは、今年4月に13年目を迎えます。今年も、知らなきや損するお金の情報を皆さまにお届けいたします。

皆さんは、家計の予算計画を立てていますか。予算計画とは、今年の収入予測と支出予測、そして貯蓄の目標計画を立てることです。

ここで国家予算を見てみましょう。22年度の予算案（一般会計）は、新型コロナ対策のための予備費を含めて107兆5964億円と昨年に続いて過去最大です。1000億円を1万円とし、1076万円に変えて国の予算を図のように家計にたとえてみました。

年収は、昨年に比べて増加が予想され、副収入と合わせると706万円。その半分以上が年金、医療、介護などの社会保障費に充てられます。社会保障費は昨年より増えて363万円です。教育費（文教・科学）が54万円、修繕費（公共事業）が61万円、子への仕送り（地方交付税）が159万円、防犯（防衛費）は増加し54万円、昨年同様にコロナ対策予備費50万円、その他93万円で、合計すると昨年より増加し約834万円です。

家計の健全性（国の場合は基礎的財政収支と言います）は、この時点で収入から支出を差し引き約130万円（13兆462億円）の赤字です。さらに今までの借金の返済（国債費）243万円が加わり、支出合計は予算案の1076万円。収入が706万円なので不足分の約369万円は、借金でカバーするということになります。新型コロナ対策や、実際は補正予算もあって、借金は膨らんで

2022年度 日本の予算を家計簿にすると

2022年度政府予算107兆5964億円を
1076万円として、家計簿としてみるとこうなります。

収入(歳入)

年収 ……652万円↑
(税収)

妻の副業 ……54万円↓
(税外収入)

借金 ……369万円↓
(国債発行)

収入合計 **1076万円↑**

支出(歳出)

年金・医療費など 363万円↑
(社会保障費)

ローン返済 ……243万円↑
(国債の返済)

子への仕送り ……159万円↓
(地方交付税)

教育費 ……54万円↓
(文教・科学振興費)

修繕費 ……61万円→
(公共投資)

防犯対策費 ……51万円↑
(防衛費)

コロナ対策費 ……50万円↑
その他 ……93万円↑

支出合計 **1076万円↑**

※↑↓は、前年度との比較(四捨五入してあります)

借入残高(長期債務残高)…1億2430万円↑

※2022年末、国と地方の長期債務残高は約1243兆円の見込み(補正予算を含む)で、換算すると1億2430万円

います。国と地方を合わせると22年度末には、1億2430万円(1243兆円)になるようです。

22年からは、人口の多い団塊の世代が75歳になり始め、医療費などの支出も増加していきます。私たちの生活は、国の予算や政策にも左右されます。国の予算が、国民の生活を豊かにするために賢く使われているのか、関心を持っていきましょう。そして、わが家の予算については、不足ないように計画していきましょう。



暮らしのマネープラン相談センター・所長
サーティファイドファイナンシャルプランナー 高橋 昌子

あなたの暮らしと財産を守るパートナー

■時間相談 ……1時間まで5,500円 2時間まで8,800円

教育資金・老後資金・相続・住宅ローン・保険の見直しや商品選択、確定拠出年金など何でも相談できます

■マイホーム相談 …… 33,000円

無理のない予算額、頭金や購入時期、最適な住宅ローン・生命保険・火災保険など、マイホーム購入にまつわるマネープランについて何でも、マイホーム購入まで時間を気にせず相談できます

■退職マネープラン相談 …… 33,000円

退職後の手続き、年金や保険、退職資金計画など退職後の生活設計について何でも、時間を気にせず相談できます



暮らしのマネープラン相談センター 金沢市此花町3-2 [ライブ1ビル1F]

☎076-232-2038

要予約

(株)FPサポート研究所 <https://www.fpsl.co.jp/> ●平日/10:00~19:00 ●土日/10:00~17:00